

		チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	6	2	<p>★土曜日は手狭なので、活動場所を工夫する必要がある。</p> <p>☆手狭に感じることもあるが、環境設定やスペースの使い方で工夫している。</p> <p>☆人数が多い時は、広い空間で過ごしたり、グループに分かれて過ごしている。</p> <p>★HR がもう少し広いと、より安全な支援ができる。</p>	<p>○児童センターの設備基準はクリアしている。</p> <p>定員おおむね10人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児1人当たりの床面積：2.47㎡以上</li> <li>・障害児1人当たりの床面積1.65㎡以上</li> </ul>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	7	1	<p>☆人数は適切だと思う。声を掛け合って、チームワークの向上を図っている。</p> <p>★後1～2人多いと、休暇を回しやすくなるのではないか。</p>	○児童発達支援事業の人員基準が、子ども4人：大人1人なので、加配配置になっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にされているか。	8	0	<p>☆スケジュールを視覚化したり、具体物を用いる等、お子さんに情報が伝わりやすいように配慮している。</p> <p>☆一人ひとりに合わせた構造化を心掛け、スタッフで統一した支援を行っている。</p> <p>☆活動によって部屋を移動したり、レイアウトを変更したりして、切り替えしやすくしている。</p> <p>☆部屋の名前もイラストで明示し、ジェスチャーでも伝えやすいものになっている。</p>	○建物の構造上、完全にバリアフリーは出来ないが、スタッフが一人ひとりのお子さんに対して、必要な支援を行うことで、動きやすく、分かりやすくなるように努めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	<p>☆朝、食事後、降所後に掃除を行い、清潔な状態を保つようにしている。(複数)</p>	
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	6	2	<p>★みんなで話し合う機会はない。</p> <p>★話し合いは限られた職員で行っているので、時々全員で話し合うのも良いと思う。</p> <p>☆会議やケース等の活用で、参画している。</p>	

					工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	8	0	☆意向調査をもとに、支援計画や心掛けることを考えている。 ☆保護者のニーズを把握して、支援の質を上げられるように努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	4	4	★把握していない。 ★公開する予定がある。 ★今回の結果を踏まえ、しっかりと支援につなげていくためにスタッフ間で共通認識を持っていけるように話し合いたい。	○これまでは実施していなかった。 今回の事業所評価から、公開していく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		○第三者による評価は実施していない。 今後、実施を検討する。
	⑨	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	8	0	☆法人、センター内、外部等の研修機会を設けている。 ☆外部研修だけでなく、自主勉強会やケースカンファレンスを実施している。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	☆スタッフ一人一人が、子ども達のことを時間をかけて、しっかり分析している。 ☆標準化された評価ツールを用いて、アセスメントを行っている。 ☆アセスメント表、支援会議等により、客観的バッテリーも使用して、適切に作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	1 1?	☆アセスメントツールを定期的に見直し、より分かりやすいテンプレートを使用している。 ☆心理士が実施している。 ★子どもの発達段階はアセスメントしているが、適応についてはその都度だと思う。 ☆項目別にまとめられる表を用いて作成している。	

	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
適切な支援の提供	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の手狂すべき支援」（発達支援、本人支援及び移行支援）、（家族支援）、（地域支援）で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	<p>☆支援計画の中に、3点の支援側面が入っている。</p> <p>☆支援会議の中で、「今」お子さんやご家族にとって必要な支援の重要度や優先度を考えて、具体的でわかりやすい支援内容を設定している。</p> <p>☆子どもに必要な支援は、常に実態を主にして少し先の課題、成長の姿を見据えて設定されている。</p>	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	8	0	<p>☆計画を具体的な支援にまで落とし込んで、スタッフ間で共通理解している。</p> <p>☆支援計画を具体的にどのようなことをするのかまで書き出し、スタッフ間で目標の共通認識を持っている。</p> <p>☆個別課題の場面とグループ活動の場面のどちらにしても、支援内容を意識して行っている。</p>	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	<p>☆チーム会議で、活動内容の検討を行っている。</p> <p>☆各グループで活動内容を話し合ったり、スタッフ一人一人がプログラムを考え、マンネリしないようにしている。</p>	
	⑮ 活動プログラムが固定しないように工夫しているか。	8	0	<p>☆一人ひとりのスタッフが、新たなプログラムを検討し、新奇性を高めている。週案も考えて、設定している。</p> <p>☆様々な活動プログラムがあり、多様な側面から支援を行っている。</p> <p>☆同じ活動名であっても、目標に合わせて内容を変えている。</p>	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	<p>☆子どもの状況、グループの凝集性に合わせて作成している。</p> <p>☆その他、日常生活動作なども組み合わせ、よりその子にあった支援計画を作成している。</p>	

	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	8	0	☆必ずミーティングを行っている。 ☆休みや出勤時間の違うスタッフも後日確認できるように、書面にして残している。 ★チーム内で分かっているが、全体周知がされていない時がある。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	8	0	☆毎日振り返りを行い、メモに残して、その場に不在のスタッフも確認できるようにしている。 ☆子どもの様子やヒヤリハットを共有し、翌日の支援につなげている。	
⑲	日々の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	☆毎日記録している。分からないことは、たがいに伝えあいながら、残すようにしている。 ☆記録を書くことで、自分の支援や活動の内容を客観的に評価でき、支援の検証につながっている。	
⑳	定期にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	8	0	☆計画を見直すときは、必ずモニタリングをしている。 ☆会議で振り返りを行い、支援計画に合った支援をしているか、共有している。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	8	0	☆基本的に児発管が出席している。	
㉒	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	8	0	☆市の発達センターや相談室とは、適宜連絡を取り合い、連携を図っている。保健センターや子育て支援課から、保護者に支援が必要なケースの相談や依頼があり、可能な限り対応するようにしている。	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			・現在、医療的ケアが必要な子どもは、利用していない。	

関係機関や保護者との連携	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考	
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。			・現在、医療的ケアが必要な子どもは、利用していない。	
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	☆児発管が実施している。 ☆併用利用するお子さんの幼稚園等に訪問したり、担任の先生に来所してもらう等して、情報共有に努めている。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	☆就学時に実施している。 ★就学後も支援の状況や情報共有等をしていけるとよいと思う。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	8	0	☆市の児発センターの勉強会や外部機関の勉強会に出席している。 ☆障害児支援連絡会にも参加し、連携を図っている。 ☆今後も研修や助言を受ける機会をもつようにし、連携を図っていきたい。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	0	8	★おもちゃ図書館に利用児が来場した際は交流を図っているが、通常の活動の中では交流する機会はない。 ★交流する機会は必要だと思う。	
	②9	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	1	☆センター長が、市の自立支援協議会こども部会に出席して、保健センター、子育て支援課、保育、教育、福祉、児童相談所等との情報共有や意見交換を行っている。 ★わからない。	
	③0	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	8	0	☆連絡帳や送迎の際に、日々の様子を伝え合い、共通理解を持つようにしている。	

	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
	③① 保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	4	4	<p>☆保護者同士の交流の機会を設けている。</p> <p>☆保護者向けの研修会（お話し会）を実施した。</p> <p>★相談を受けた際には、話を聞いたり、具体的に支援の方法を伝えたりしているが、保護者への支援はハードルが高いと思っている。</p> <p>★保護者の子どもへの理解を深めるような支援はしているが、支援プログラムとしては実施していない。</p>	
保護者への説明責任等	③② 運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	8	0	<p>☆契約時に書面を確認しながら説明をして了解を得ている。</p> <p>☆問い合わせ等にも丁寧に対応している。</p>	
	③③ 児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	<p>☆保護者にわかりやすい言葉や書き方で支援計画を作成している。</p> <p>☆個別に面談で丁寧に説明をしながら、同意を得ている。</p>	
	③④ 定期的に、保護者からの悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8	0	<p>☆年2回の面談だけでなく、連絡帳や電話、個別面談等によりサポートしている。</p> <p>☆連絡帳でのやりとりには、必ず丁寧に答えるとともに、必要があれば面談の機会を設けるようにしている。</p>	
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	8	0	<p>☆保護者会以外でも、参観後の懇談会や行事で交流を図れるような企画をしている。行事の時にも、名札を付けたり席順を考えて交流を図れるように配慮している。</p> <p>★保護者同士のつながりを深める場やシステムを要望する声が上がっているが、十分に対応できていない。</p>	
③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	<p>☆苦情解決の体制を整備して、保護者に周知している。</p> <p>☆相談や申し入れについては、迅速に対応し、保護者が納得できるまで話し合ったり、対応策を検討するようにしている。</p>		

保護者への説明責任等	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	<p>☆毎月おたよりを発行し、子どもの写真を多く載せて楽しく過ごしている様子を伝えたり、翌月の予定をお知らせするようにしている。</p> <p>☆第1回保護者会の資料に必要な情報を載せて、繰り返し確認できるように冊子にまとめている。</p>	
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか。	8	0	<p>☆個人情報が含まれる書類等は、必ず鍵付きのロッカーにしまうようにしている。</p> <p>☆センター独自の取り扱いマニュアルを作成し、スタッフに周知徹底している。</p>	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	<p>☆サイン、ジェスチャー、カード、擬態語など、子どもの理解に即した手段を用いている。</p>	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	<p>☆行事の際には、地域のボランティアさんに手伝ってもらっているようにしている。</p> <p>☆散歩に出かける時は、近所の方に挨拶をするように心がけている。</p> <p>☆おもちゃ図書館を実施している。</p>	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	<p>☆マニュアルは定期的を確認し、感染症の流行前には発生を想定したトレーニングを行っている。</p> <p>★防犯マニュアルは作成していないので、早急に作成し周知を図る。</p>	
④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	8	0	<p>☆法人で防災計画に基づいた避難訓練を定期的実施している。年に3回は、センターの子どもを含めた避難誘導訓練を実施している。</p>		

非常時の対応等	チェック項目	○	×	工夫している点、課題や改善すべき点など	備考
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	☆利用開始時のアセスメントの際に、確認するようにしている。	
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	☆保護者からの要望に基づいて対応している。 必要に応じて、医師の意見書やアレルギー検査の結果を確認させてもらっている。	
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	8	0	☆毎日のミーティングでその日にあったヒヤリハットを報告し合い、記録に残している。毎月記録をまとめて分析し、会議で話し合い、対策等を検討している。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	8	0	☆リーダー級の職員を外部研修に派遣している。 ☆スタッフ会議において、隔月で権利擁護をテーマとした研修を実施している。	
④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定して、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	4	★現在は身体拘束の必要があるお子さんがいないため、支援計画には記載していない。 ☆契約時に、身体拘束について、やむを得ず行う場合について説明し、了解を得ている。 ★身体拘束について、話し合うことがないので、いざという時に保護者に説明できないので、共通理解を持った方がよい。		